

발송번호: 9-5-2005-013215250

발송일자: 2005.03.25

제출기일: 2005.05.25

수신

서울 강남구 역삼1동 648-23 여삼빌딩 15

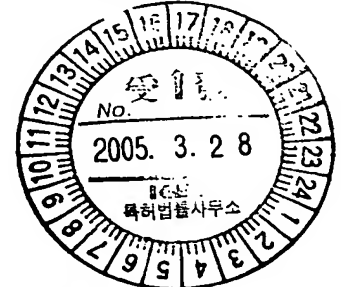
층(KBK특허법률사무소)

김용인

135-748

특 허 청 의견제출통지서

출 원 인 명 칭 엘지.필립스 엘시디 주식회사 (출원인코드: 119981018655)
주 소 서울 영등포구 여의도동 20번지
대 리 인 성 명 김용인 외 1 명
주 소 서울 강남구 역삼1동 648-23 여삼빌딩
15층(KBK특허법률사무소)
출 원 번 호 10-2002-0058525
발 명 의 명 칭 액정표시장치의 백라이트 유닛



이 출원에 대한 심사결과 아래와 같은 거절이유가 있어 특허법 제63조의 규정에 의하여 이를 통지하오니 의견이 있거나 보정이 필요할 경우에는 상기 제출기일까지 의견서[특허법 시행규칙 별지 제25호의2서식] 또는/및 보정서[특허법시행규칙 별지 제5호서식]를 제출하여 주시기 바랍니다.(상기 제출기일에 대하여 매회 1월 단위로 연장을 신청할 수 있으며, 이 신청에 대하여 별도의 기간연장승인통지는 하지 않습니다.)

[이유]

이 출원의 특허청구범위 제1~9항에 기재된 발명은 그 출원전에 이 발명이 속하는 기술분야에서 통상의 지식을 가진 자(이하 당업자라 함)가 아래에 지적한 것에 의하여 용이하게 발명할 수 있는 것이므로 특허법 제29조제2항의 규정에 의하여 특허를 받을 수 없습니다.

- 아 래 -

1. 특허청구범위 제1~9항에 기재된 본원발명은 광효율을 향상시킨 백라이트 유닛에 관한 것으로 그 기술적 특징은 복수개의 백색 LED, 적색 LED, 녹색 LED, 청색 LED 광을 도광판에 간접 조사하는 것에 있으며, 한국공개특허공보 2002-56720호(2002.07.10, 이하 인용발명1이라 함)은 엘이디 백라이트 구조에 관한 것이고, 일본공개특허공보 특개2001-210122호(2001.08.03, 이하 인용발명2이라 함)은 조명장치에 관한 것으로

2. 본원발명과 인용발명1,2의 구성을 살펴보면 본원발명은 도광판, PCB기판상에 배열된 복수개의 백색, 적색, 녹색, 청색 발광 다이오드로 구성된 광원부, 상기 광원부의 광을 상기 도광판으로 가이드 하기 위한 하우징, 반사판으로 이루어진 것을 특징으로 하고 있으며, 인용발명1은 도광판, 홀더, PCB 상면에 형성된 LED칩으로 구성된 것을 특징으로 하고 있으며, 인용발명2는 도광판과 LED어레이를 포함하는 것을 특징으로 하고 있습니다. 따라서 본원발명은 인용발명1의 구성에 인용발명2의 백색, 청색, 녹색, 적색 LED어레이를 결합함으로써 당업자가 구성의 곤란성 없이 용이하게 발명할 수 있습니다.

결	담	담	관리팀장	사전팀장
재	3/29	3/29	3/29	3/29

[첨 부]

첨부1 한국공개특허 제2002-56720호(2002.07.10) 1부.

첨부2 일본공개특허공보 특개2001-210122호(2001.08.03) 일부분. 끝.

2005.03.25

특허청

전기전자심사국
영상기기심사담당관실

심사관

장경태



<< 안내 >>

영세서 또는 도면 등의 보정서를 전자문서로 제출할 경우 매건 3,000원, 서면으로 제출할 경우 매건 13,000원의 보정료를 납부하여야 합니다.

보정료는 접수번호를 부여받아 이를 납부자번호로 "특허법 실용신안법 의장법및상표법에 의한 특허료 등록료와 수수료의 징수규칙" 별지 제1호서식에 기재하여, 접수번호를 부여받은 날의 다음 날까지 납부하여야 합니다. 다만, 납부일이 공휴일(토요일·휴일)을 포함한다)에 해당하는 경우에는 그날 이후의 첫 번째 근무일까지 납부하여야 합니다.

보정료는 국고수납은행(대부분의 시중은행)에 납부하거나, 인터넷지로(www.giro.go.kr)로 납부할 수 있습니다. 다만, 보정서를 우편으로 제출하는 경우에는 보정료에 상응하는 통상환을 동봉하여 제출하시면 특허청에서 납부해드립니다.

문의사항이 있으시면 ☎042-481-5769로 문의하시기 바랍니다.

서식 또는 절차에 대하여는 특허고객 콜센터(☎1544-8080)으로 문의하시기 바랍니다.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-210122

(43)Date of publication of application : 03.08.2001

(51)Int.Cl.

F21V 8/00
G02F 1/133
G02F 1/13357
G09F 9/00
G09F 9/30
G09G 3/20
G09G 3/36
H01L 29/786
H04N 5/225
H04N 5/66
// F21Y101:02

(21)Application number : 2000-020831

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 28.01.2000

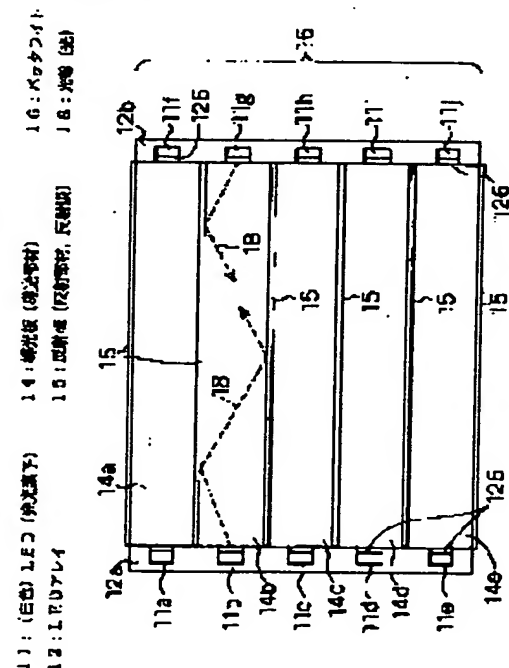
(72)Inventor : TAKAHARA HIROSHI

(54) LUMINAIRE, VIDEO DISPLAY DEVICE, METHOD OF DRIVING VIDEO DISPLAY DEVICE, LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL, METHOD OF MANUFACTURING LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL, METHOD OF DRIVING LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL, ARRAY SUBSTRATE, DISPLAY DEVICE, VIEWFINDER AND VIDEO CAMERA

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a video display device which prevent a moving picture from blurring and to provide its related apparatuses.

SOLUTION: A backlight 16 is arranged on a backface of a video display device 21. A light guide plate 14 which constitutes the backlight 16 is comprised of a plurality of blocks. A white LED 11 or R, G or B LED is arranged at the end of the light guide plate 14. This white LED turns on solely or as a group of plurality of them, and positions of the white LED to turn on are scanned in synchronism with positions of the video display device 21 to write into an image. When re-writing all pixel rows of the video display device 21, the white LEDs 11 that are located at the re-written pixel rows turn on after a predetermined time has passed, and an image is displayed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or

application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

일본공개특허공보 특개2001-210122호(2001.08.03) 일부분.

[첨부그림 1]

(15) 日本国特許庁 (J P)

(20) 公開特許公報 (A)

(31) 特許出願公開番号
特開2001-210122
(P2001-210122A)

(43) 公開日 平成13年8月3日(2001.8.3)

(51) Int.Cl. ⁷	特許庁番号	P I	特許庁番号(参考)
F 2 1 V 8/00	6 0 1	F 2 1 V 8/00	6 0 1 D
G 0 2 P 1/133	5 3 6	G 0 2 P 1/133	6 0 1 E
1/13357		G 0 9 F 8/00	5 3 6
G 0 8 F 9/00	3 3 6	9/30	3 3 6 J
			3 3 8

特許請求 未請求 請求項の範囲 OL (全 118 頁) 最終頁に続く

(32) 出願番号 特開2000-20831(P2000-20831)

(32) 出願日 平成12年1月28日(2000.1.28)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1008番地

(72) 発明者 高野 博司

大阪府門真市大字門真1008番地 松下電器
産業株式会社内

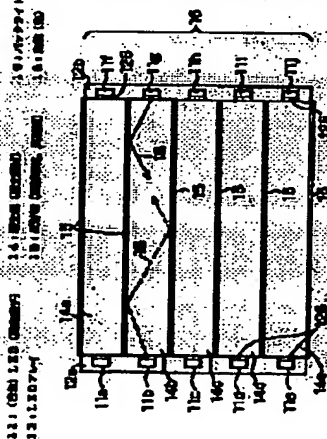
(74) 代理人 100002794

弁護士 松田 正雄

(54) 【発明の名称】 照明装置、映像表示装置、映像表示装置の駆動方法、映像表示パネル、映像表示パネルの駆動方法、液晶表示パネルの駆動方法、アレイ基板、表示装置、ビューファインダおよびビデオカメラ

(57) 【要約】 動画ボケの発生しない映像表示装置および関連機器を提供する。

【図1】 表示パネル21の背面にはバックライト16が配置され、このバックライトを構成する導光板14は複数のブロックから構成される。図1は、導光板14の端には白色LED11もしくは、R、G、BのLEDが配置されている。この白色LEDは単独であるいは複数個を組として動作し、この動作位置は表示パネル21の画素書き込み位置と対応をとって位置され、表示パネル21の各画素行を書き込んだ後、所定の駆動後に書き込んだ画素行に位置する白色LED11が点灯し画素が表示される。



【특許請求의範圍】

【請求項 1】 라인狀의光發生手段と、

前記光發生手段からスリット狀に光を出射させる透光手段と、
前記光發生手段または前記透光手段を回転中心で回転させる回転手段と、
前記スリットから出射された光を導光する導光板とを具備することを特徴とする照明装置。

【請求項 2】 導光板と、

前記導光板上にマトリックス狀に配置された光發生手段と、
前記導光板の光出射面に形成または配置された光拡散手段とを具備し、
前記光發生手段は、單色光を發生する発光素子が近接して配置されて構成されていることを特徴とする照明装置。

【請求項 3】 複数の透光体または反射体を分割して構成された導光板と、
前記分割された導光板のそれぞれに形成または配置された光發生手段と、

前記導光板の光出射面に形成または配置された光拡散手段とを具備し、
前記光發生手段は、單色光を發生する発光素子が近接して配置されて構成されていることを特徴とする照明装置。

【請求項 4】 請求項 1 から請求項 3 に記載のいずれかの照明装置と、
前記照明装置からの出射光を再現する液晶表示パネルとを具備することを特徴とする映像表示装置。

【請求項 5】 マトリックス狀に凹部が形成された第 1 の基板と、
前記凹部に形成されたブラックマトリックスと、
マトリックス狀に画素が形成された第 2 の基板と、
前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に挟持された液晶層とを具備し、

前記第 1 の基板の前記凹部が形成された面と、前記第 2 の基板の前記画素が形成された面とが対向していることを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項 6】 マトリックス狀に凹部が形成された第 1 の基板と、

前記凹部に形成されたブラックマトリックスと、
マトリックス狀に画素が形成された第 2 の基板と、
前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に挟持された液晶層とを具備し、

前記第 1 の基板の前記凹部が形成された面と、前記第 2 の基板の前記画素が形成された面とが対向しており、
前記ブラックマトリックス上に平滑化膜が形成され、
前記平滑化膜上に対向電極が形成されていることを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項 7】 光透過性のある第 1 の基板と、画素電極がマトリックス狀に形成された第 2 の基板とを具備し、

前記第 1 の基板にマトリックス狀に凹部を形成する第 1 の工程と、

前記凹部に導またはアルミニウムを含む金属層を形成する第 2 の工程と、

前記電極上に光透過性を有する平滑化膜を形成する第 3 の工程と、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板との間に液晶を挟持させる第 4 の工程とを含むことを特徴とする液晶表示パネルの製造方法。

【請求項 8】 マトリックス狀に凹部が形成された第 1 の基板と、

前記凹部に形成されたブラックマトリックスと、

前記第 1 の基板に形成された付加コンデンサと、

マトリックス狀に画素が形成された第 2 の基板と、
前記付加コンデンサと前記画素電極とを接続する接続部と、

前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に挟持された液晶層とを具備し、

前記第 1 の基板の前記凹部が形成された面と、前記第 2 の基板の前記画素が形成された面とが対向していることを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項 9】 第 1 の導光板と、

前記第 1 の導光板に光束を入力する第 1 の発光手段と、
第 2 の導光板と、

前記第 2 の導光板に光束を入力する第 2 の発光手段と、
前記第 1 の発光手段および前記第 2 の発光手段のオンオフを制御する制御手段とを具備することを特徴とする照明装置。

【請求項 10】 第 1 の導光板と、

前記第 1 の導光板に光束を入力する第 1 の発光手段と、
第 2 の導光板と、

前記第 2 の導光板に光束を入力する第 2 の発光手段と、
前記第 1 の発光手段および前記第 2 の発光手段のオンオフを制御する制御手段と、

前記第 1 の導光板および第 2 の導光板のそれぞれの光出射面に配置された光拡散手段と、

前記光拡散手段の光出射面に配置された液晶表示パネルとを具備することを特徴とする映像表示装置。

【請求項 11】 請求項 10記載の映像表示装置を用いた映像表示装置の駆動方法であって、
画面上の上半分の画像を書き換えている第 1 の時間では、

前記第 1 の発光手段を点灯する工程と、
画面の下半分の画像を書き換えている第 2 の時間では、

前記第 2 の発光手段を点灯する工程とを備えたことを特徴とする映像表示装置の駆動方法。

【請求項 12】 導光板と、

前記導光板の上端部に配置または形成された第 1 の発光手段と、

前記導光板の下端部に配置または形成された第 2 の発光手段と、